

戸籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス
第六條 戸籍吏カ其職務ノ執行ニ付キ届出人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ戸籍吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠償スル責ニ任ス

第二章 身分登記簿

第七條 身分登記簿ハ本籍人身分登記簿及ヒ非本籍人身分登記簿ノ二種トシ各正副二本ヲ備フ

各種ノ登記簿ハ第四章第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事件ノ區別ニ從ヒ各別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

第八條 身分登記簿ハ一年毎ニ之ヲ編製ス

第九條 戸籍吏ハ豫メ翌年ノ身分登記簿ト爲スヘキ帳簿ヲ作り監督官ノ契印ヲ請フコトヲ要ス

監督官カ帳簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ職印ヲ以テ毎葉ノ綴目ニ契印シ表紙ノ裏面ニ其枚數ヲ記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シテ之ヲ戸籍吏ニ還付スルコトヲ要ス

第十條 身分登記簿ノ用紙カ不足ナルトキハ戸籍吏ハ更ニ帳簿ヲ作りテ契印ヲ請フコトヲ要ス

第十一條 身分登記簿ノ正本ハ永久ニ之ヲ戸籍役場ニ保存スルコトヲ要ス

登記ヲ終結シタル身分登記簿ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ納付スルコトヲ要ス

地方裁判所ハ其納付ヲ受ケタル身分登記簿ノ副本ヲ永久ニ保存スルコトヲ要ス

第十二條 身分登記簿ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外之ヲ戸籍役場外ニ持出スコトヲ得ス但登記ヲ終結シタル登記簿ニ付キ裁判所又ハ豫審判事ノ命令アリタルトキハ此限ニ在ラス

第十三條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ身分登記簿ノ閲覧又ハ登記ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戸籍吏之ヲ作り原本ト相違ナキ旨ヲ附記シ職氏各ヲ署シ職印ヲ押捺シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戸籍吏之ヲ送付スルコトヲ要ス

戸籍吏カ閲覧又ハ交付ノ請求ヲ許ササル場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ告知スルコトヲ要ス

第十四條 身分登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ司法大臣ハ其旨ヲ告示シ且身分登記簿ノ複製又ハ補完ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ要ス

第三章 登記手續

第十五條 身分登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

- 一 戶籍吏カ身分ニ關スル届出ヲ受ケ又ハ其届書ノ送付ヲ受ケタルトキ
- 二 戶籍吏カ身分ニ關スル報告ヲ受ケタルトキ
- 三 戶籍吏カ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ受ケ又ハ其謄本ノ送付ヲ受ケタルトキ
- 四 戶籍吏カ身分ニ關スル事項ヲ記載シタル航海日誌ノ謄本ノ送付ヲ受ケタルトキ
- 五 戶籍吏カ登記ノ取消又ハ變更ノ申請若クハ請求ヲ受ケタルトキ
- 六 戶籍吏カ登記ヲ爲スヘキ旨ノ裁判ヲ受ケタルトキ

第十六條 前條ニ掲ケタル場合ト雖モ届出、送付其他ノ手續カ本法ノ規定ニ依リタルモノニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 登記ハ法律ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外之ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第十八條 戶籍吏カ届出、報告其他登記ニ關スル書類ヲ受理シタルトキハ其書類ニ受附ノ

番號及ヒ年月日ヲ記載シ遲滞ナク登記ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 登記ハ本籍人、非本籍人及ヒ登記ヲ爲スヘキ事件ノ區別ニ從ヒ相當ノ登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 被登記者ノ本籍カ届出其他ノ事由ニ因リ戶籍吏ノ管轄ニ歸シ又ハ其管轄ヲ離ルル場合ニ於テハ本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

一個ノ登記ニシテ本籍人及ヒ非本籍人ニ關スルトキハ同時ニ本籍人身分登記簿及ヒ非本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲シ各登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

第二十一條 被登記者ノ本籍カ分明ナラサルトキハ非本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條 登記ニハ第四章ノ規定ニ依リ届出、報告、申請若クハ請求ヲ爲シ又ハ航海日誌ノ謄本ニ記載シタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

證書ノ謄本ニ依リテ爲ス登記ニハ其謄本ニ記載シタルコトヲ要ス
裁判ニ依リテ爲ス登記ニハ其裁判ヲ以テ命セラレタル登記事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十二條 登記ヲ爲スヘキ事實カ第四章第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事件ノ二個以上ニ涉ルトキハ各別ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニハ各登記ニ付キ必要ナル事項ノミヲ記載シ各登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

第二十四條 登記取消ノ登記ハ取消ノ申請又ハ請求ノ目的タル登記ノ欄外ニ之ヲ爲シ原登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十五條 登記變更ノ登記ハ其目的タル登記ノ欄外ニ之ヲ爲シ且其申請ノ基本タル裁判ノ趣旨ニ從ヒテ原登記ヲ變更スルコトヲ要ス

第二十六條 本籍分明ナラザル者ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨ノ届出又ハ報告アリタルトキハ原登記ノ欄外ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

本籍分明ト爲リタル者カ本籍人ナリシトキハ前項ノ規定ニ依ラス更ニ本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲シ其登記及ヒ前登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

前二項ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍ニ付キ更ニ届出又ハ報告アリタルトキハ届出又ハ報告アリタルコト及ヒ其年月日ヲ登記ノ欄外ニ記載スルヲ以テ足ル

第二十七條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失ノ届出ヲ爲ササリシトキハ戶籍吏ハ戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ國籍喪失ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條 登記ニハ第二十二條ニ規定シタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 届出又ハ申請受附ノ年月日但他ノ戶籍吏又ハ官廳ヨリ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ發送者ノ官職、氏名及ヒ發送ノ年月日ヲ併記スルコトヲ要ス

二 報告又ハ請求ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ報告者又ハ請求者ノ官職、氏名

三 證書又ハ航海日誌ノ謄本ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ證書又ハ航海日誌ノ作製者及ヒ謄本發送者ノ官職、氏名

四 登記ヲ命シタル裁判ノ年月日及ヒ裁判所ノ名

第二十九條 登記ヲ爲スニハ略字又ハ符號ヲ用非ス字畫明瞭ナルコトヲ要ス
年月日時及ヒ年齢ヲ記スル數字ニハ一二三ノ字ヲ用非スシテ壹貳參拾ノ字ヲ用ユルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ戶籍吏之ニ認印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ明カニ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第三十條 登記ハ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外日次ヲ逐ヒ事件受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲シ一事件毎ニ番號ヲ附シ用紙ニ空行ヲ存セス前後ノ登記ヲ接続セシムルコトヲ要ス

第三十二條 戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ其文末ニ認印スルコトヲ要ス

第三十二條

欄外登記ヲ爲スヘキ場合ニ於テ用紙ニ餘白ナキトキハ掛紙ヲ以テ之ニ充ツル
コトヲ得此場合ニ於テハ戸籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 被登記者ノ本籍カ届出ニ因リテ戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬ス
ル場合ニ於テハ戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ正本ヲ新管轄ノ戸籍吏ニ送付
スルコトヲ要ス

被登記者ノ本籍カ他ノ戸籍吏ノ管轄ヨリ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ戸籍吏ハ
登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ副本ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十四條 被登記者ノ本籍カ届出ヲ受ケタル戸籍吏ノ管轄以外ニ於テ一ノ戸籍吏ノ管轄
ヨリ他ノ戸籍吏ニ轉屬スル場合ニ於テハ其届出ヲ受ケタル戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲
滞ナク届書ノ正本ヲ新管轄ノ戸籍吏ヲ送付シ其副本ノ一通ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送付スル
コトヲ要ス

第三十五條 前二條ノ場合ヲ除ク外被登記者ノ本籍カ戸籍吏ノ管轄ニ屬セサルトキハ戸籍
吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ正本ヲ管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十六條 第三十三條及ヒ第三十四條ノ規定ハ届出以外ノ事由ニ因リ被登記者ノ本籍カ
移轉スル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ戸籍吏ハ其受附ケタル書面ノ謄本ヲ作り其謄本ヲ以テ届書ノ副本ニ
代フルコトヲ要ス届出以外ノ事由ニ因リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ被登記者ノ本籍カ戸
籍吏ノ管轄ニ屬セサルトキ亦同シ

第三十七條 登記ヲ爲シタルトキハ届書其他登記ニ關シテ受附ケタル書類ニ登記ノ番號及
ヒ年月日ヲ記載シ登記簿ノ區別ニ從ヒ各別ニ之ヲ編綴シ且之ニ目錄ヲ附スルコトヲ要
ス

第三十八條 前條ノ書類ハ一个月毎ニ遲滞ナク之ヲ監督區裁判所ニ送付シ監督區裁判所ハ
之ヲ保存スルコトヲ要ス
書類ヲ保存スヘキ期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第三十九條 戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ登記ヲ爲スト同一ノ手續ニ依リ遲滞ナク其全文
ヲ登記簿ノ副本ニ謄寫スルコトヲ要ス
登記簿ノ副本ヲ地方裁判所ニ送付シタル後欄外登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ戸籍吏ハ遲
滞ナク其登記ノ謄本ヲ作り職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺シ之ヲ地方裁判所ニ送付スルコトヲ
要ス

地方裁判所長ハ前項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル登記ノ謄本ヲ登記簿ノ副本中相當登記

ノ欄外ニ貼付シ職印ヲ以テ謄本ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第四十條 登記ヲ爲シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ戶籍吏ハ遲滞ナク之ヲ届出人又ハ登記事件ノ本人ニ通知スルコトヲ要ス

第四十一條 戶籍吏ハ毎年未ニ於テ最終登記ノ次行ニ終結ノ旨ヲ記載シ職氏名ヲ署シ職印押捺スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ最終登記ヲ爲ス前登記簿ノ用紙ヲ用非盡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四章 身分ニ關スル届出

第一節 通則

第四十二條 身分ニ關スル届出ハ其届出人ノ本籍地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但其届出人カ本籍地外ニ在ル場合ニ於テハ其所在地ノ戶籍吏ニ届出ヲ爲スコトヲ得

届出人カ本籍ヲ有セサルトキハ其届出ニ關シテハ所在地ヲ以テ本籍地ト看做ス

第四十三條 届出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス但正當ノ事由アルトキハ届出人ハ戶籍吏ニ其理由ヲ陳述シ口頭ニテ届出ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 届出事件

二 届出ノ年月日

三 届出人ノ族稱、職業、出生ノ年月日及ヒ本籍地

第四十五條 届出人ノ届出事件ノ本人ト異ナルトキハ届書ニ其間ノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

届出人カ家族ナルトキハ届書ニ戶主ノ氏名及ヒ届出人ト戶主トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十六條 届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス

前項ノ場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日及ヒ本籍地

二 無能力ノ原因

三 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト

第四十七條 前條ノ規定ハ無能力カ其法定代理人ノ同意ヲ得スコトヲ得ヘキ行爲ノ届出ニハ之ヲ適用セス

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出人カ届出事件ノ性質及ヒ效果ヲ理會スル

ニ足ルヘキ能力ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ醫師ノ診斷書ヲ添フルコトヲ要ス

第四十八條 證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届書ニ其證人タルコト、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載シテ署名、捺印スルコトヲ要ス

第四十九條 届出人、届出事件ノ本人又ハ届出ノ證人カ本籍地外ニ在ルトキハ届書ニ其所在地ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十條 本法ノ規定ニ依リ届書ニ記載スヘキ事項中其事實ノ存セサルモノ又ハ知レサルモノアルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス但戸籍吏ハ各届出事件ニ付キ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルコトヲ得ス

第五十一條 届書ニハ本法其他ノ法令ニ定メタル事項ニ非サレハ之ヲ記載スルコトヲ得ス

第五十二條 第二十九條ノ規定ハ届書ニ記載ニ之ヲ準用ス

第五十三條 本籍地ノ戸籍吏ノ管轄地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ届書ハ正副二本ヲ作ルコトヲ要ス
届出ニ因リ一人又ハ數人ノ本籍カ一ノ家ヨリ他ノ家ニ移轉スル場合ニ於テ兩家ノ本籍地カ戸籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ届書ハ正副二本ヲ作り届出地ト兩家ノ本籍地トカ各戸籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

第五十四條 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ戸籍吏ノ面前ニ出頭シ其届出事件ヲ陳述シ戸籍吏ハ直チニ其口述並ニ届出ノ年月日、届出人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ筆記シ之ヲ届出人ニ讀聞カセ且届出人ヲシテ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第五十五條 前條ノ規定ニ依リテ戸籍吏カ作ルヘキ書面ニハ届書ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十六條 第四十三條、第五十四條及ヒ前條ノ規定ハ届出事件ニ關スル同意、承諾又ハ承認ノ證明ニ之ヲ準用ス

第五十七條 本法ニ別段ノ規定アル場合ノ外法令ノ規定ニ依リ届出事件ニ付キ官廳ノ許可ヲ要スルトキハ届出人ハ届書ニ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第五十八條 届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ自ラ戸籍吏ノ面前ニ出頭スルコト能ハサルトキハ代理人ヲ差出タスコトヲ得

第五十九條 外國ニ在ル日本人ハ本法ノ規定ニ從ヒ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ届出ヲ爲ナスコトヲ得

第六十條 外國ニ在ル日本人カ其國ノ法式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタルトキハ三個月内ニ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ差出タスコトヲ要ス
日本ノ公使又ハ領事カ其國ニ駐在セザルトキハ本人歸國ノ後一個月内ニ本籍地ノ戸籍吏

ニ證書ノ謄本ヲ差出タスコトヲ要ス

十四

第六十一條 前二條ノ規定ニ依リテ公使又ハ領事カ受取リタル届書又ハ證書ノ謄本ハ其公使又ハ領事ヨリ三個月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ本人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第六十二條 本法ニ定メタル届出期間ハ届出事件ノ發生シタル日ヨリ之ヲ起算ス

裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ届出義務者カ裁判ノ送達又ハ交付ヲ受クル前裁判カ確定シタルトキハ其送達又ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十三條 本法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スヘキ届出ヲ怠リタル爲メ過料ニ處セラレタル者アルトキハ裁判所ハ遲滞ナク其者カ届出ヲ爲スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス但戸籍吏ヨリ既ニ届出ヲ受理シタル旨ノ通知アリタル場合ハ此限ニ在ラス

戸籍吏カ前項ノ通知ヲ受ケタルキトハ届出義務者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ戸籍吏ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ要ス爾後届出義務者カ戸籍吏ノ催告ニ應セサルトキ亦同シ

第六十四條 戸籍吏カ其管轄内ニ本法ノ規定ニ違反シテ届出ヲ爲ササル者アルコトヲ知り

タルトキハ遲滞ナク之ヲ其事件ノ管轄裁判所ニ通知スルコトヲ要ス

第六十五條 届出期間ヲ經過シタル後ニ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ戸籍吏ハ其届出ヲ受理スルコトヲ要ス

第六十六條 届出人ハ手数料ヲ納付シテ届出受理ノ証明書ヲ請求スルコトヲ得

第六十七條 届出ニ關スル規定ハ登記ノ取消又ハ變更ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二節 出生

第六十八條 子ノ出生アリタルトキハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 子ノ名及ヒ男女ノ別

二 子カ私生子ナルトキ又ハ出生前ニ認知セラレタル爲メ庶子ト爲リタル者ナルトキハ

其旨

三 出生ノ年月日時及ヒ場所

四 父母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地但私生子ノ届出ニ付テハ母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地ノミヲ記載スルコトヲ要ス

五 出生子ノ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地

六 出生子カ一家ヲ創立スル者ナルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因

七 國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨

第六十九條 嫡出子出生ノ届出ハ出生地又ハ父母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ出生地又ハ父ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但庶子カ父ノ家コ入ルコトヲ得サル場合ハ此限ニ在ラス

私生子又ハ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル庶子ノ出生ノ届出ハ出生地又ハ母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十條 汽車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル場合ニ於テハ届出ニ付テハ到着地ヲ以テ出生地ト看做ス

第七十一條 嫡出子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合及ヒ民法第七百三十四條第一項、第二項但書ノ場合ニ於テハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス前二項ニ掲ケタル者ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

第一 戸主

第二 同居者

第三 分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四 分娩ヲ介抱シタル者

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

第七十二條 夫ハ妻ノ子ノ嫡出ナルコトヲ否認セントスル場合ト雖モ前條第一項ノ規定ニ依リ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十三條 民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ出生子ノ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ其届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

父カ裁判ニ依リテ定マリタルトキハ其父ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲シ且第一項ノ届出ニ依リテ爲シタル登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第七十四條 病院、監獄其他ノ公設所ニ於テ子ノ出生アリタル場合ニ於テ父又ハ母ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ病院、監獄又ハ其他ノ公設所ノ長若クハ管理人ヨリ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十五條 棄兒ヲ發見シタル者ハ二十四時内ニ其旨ヲ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

棄兒發見ノ届出アリタルトキハ戶籍吏ハ其兒ニ氏名ヲ命シ且之ニ附屬スル衣服、物品、發見ノ場所、年月日時其他ノ状況並ニ其兒ノ推定年月、氏名、男女ノ別、引受人ノ氏名職業、本籍地又ヒ所在地又ハ育兒院ノ稱號並ニ場所及ヒ引渡ノ年月日ヲ調査ニ記載シテ之ヲ届書ニ添ヘ置クコトヲ要ス

引受人又ハ育兒院ニ變換アリタルトキハ雙方ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第二項ノ調査ハ登記ニ付テハ之ヲ届書ト看做ス

第七十六條 棄兒ノ父又ハ母カ現出シテ其兒ヲ引取ルトキハ一ヶ月内ニ第六十八條ノ届出ヲ爲シ其棄兒發見ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第七十七條 出生又ハ棄兒發見ノ届出ヲ爲ササル前出生子又ハ棄兒カ死亡シタルトキハ出生又ハ棄兒發見及ヒ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十八條 航海中ニ子ノ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船者中ヨリ選ミタル證人ノ前ニ於テ第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證人ト共ニ署名捺印シ且證人ノ出生ノ年月日職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ着シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ

其出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナク其出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三ヶ月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ父母ノ本籍地ノ戶籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第三節 嫡出子否認

第七十九條 嫡出子否認ノ裁判カ確定シタルトキハ否認者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出テ且既ニ出生ノ登記ヲ爲シタル者ニ付テハ登記ノ變更ヲ申請スルコトヲ要ス

一 子ノ名及ヒ男女ノ別

二 出生ノ年月日

三 否認ノ裁判カ確定シタル年月日

第四節 私生子認知

第八十條 私生子認知ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

一 子ノ名及ヒ男女ノ別

二 出生ノ年月日

三 死亡シタル子ヲ認知スル場合ニ於テハ死亡ノ年月日
 四 父カ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 前項第四號ノ場合ニ於テ母カ家族ナルトキハ其戸主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ其戸主ト
 母トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十一條 民法第八百三十一條第一項ノ規定ニ依リテ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ認知者ハ
 母ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ具シテ其胎内ニ在ル子ヲ認知スル旨ヲ届出ツルコトヲ要ス
 第八十二條 民法第八百三十條及ヒ第八百三十一條ノ規定ニ依リテ子、母又ハ直系卑屬ノ承
 諾ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ承諾ノ證書ヲ添ヘ又ハ承諾ヲ爲シタル者ヲシテ
 届書ニ承諾ノ旨ヲ附記シ之ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス

第八十三條 遺言ニ依リテ認知ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言カ效力ヲ生シタ
 ル日ヨリ十日内ニ其認知ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添ヘ前三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ届出ツル
 コトヲ要ス

遺言ニ依ル認知ノ届書ニハ認知者ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス
 第八十四條 胎内ニテ認知セラレタル子カ死體ニテ分娩シタルトキハ出生届出義務者ハ其
 事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ認知ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス但遺言執行者

カ認知ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ヨリ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要
 ス

第五節 養子縁組

第八十五條 縁組ノ届書ハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 三 常事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 養子カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ縁組ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項
 ノ外婚家ノ戸主又ハ前養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第八十六條 民法第八百四十三條ノ規定ニ依リテ縁組ノ承諾ヲ爲シタル者ハ養子ニ代ハリ
 テ縁組ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第八十七條 民法第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項、第八百四十一條第二項及
 ヒ第八百四十三條乃至第八百四十六條ノ規定ニ依リ戸主、父母、配偶者、後見人又ハ親族
 會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者
 ナシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第八十八條 民法第八百四十二條ノ規定ニ依リ配偶者ノ一方カ雙方ノ名義ヲ以テ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十九條 民法第八百四十八條ノ規定ニ依リ縁組ノ届出ヲ爲ストキハ届書ニ第八十五條ニ掲ケタル諸件及ヒ遺言者ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ養子ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第九十條 縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十一條 縁組カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第九十二條 縁組ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第九十三條 第八十五條及ヒ第八十七條乃至第八十九條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條 第五十八條ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節 養子離縁

第九十五條 離縁ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 四 縁組ノ年月日
 - 五 離縁カ協議又ハ裁判ニ因ルコト
 - 六 養子ノ妻カ養子ト共ニ養家ヲ去ルトキハ其旨及ヒ妻ノ名
 - 七 養子カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 八 養子カ復籍スヘキ家ナキトキハ其事由
- 第九十六條 民法第八百六十二條第二項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養親及ヒ養子ニ代ハリテ協議ヲ爲シタル者ヨリ届出ヲ爲スコトヲ要ス
- 第九十七條 民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養子ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル
- 第九十八條 民法第八百六十二條第三項及ヒ第八百六十三條ノ規定ニ依リ戸主、父母、後见人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ヲ署名捺印セシムルコトヲ要ス

第九十九條 離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日
内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一百條 第九十五條及ヒ第九十八條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
第一百一條 第五十八條ノ規定ハ離縁ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第七節 婚姻

第一百二條 婚姻ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍地
 - 二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 四 入夫婚姻又ハ婿養子縁組ナルトキハ其旨
 - 五 入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫カ戸主ト爲ラサルトキハ其旨
 - 六 婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子アルトキハ其名及ヒ出生ノ年月日
- 當事者ノ一方カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケ
タル事項ノ外前婚家ノ戸主又ハ養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第一百三條 民法第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項、第七百七十二條及ヒ第七百

七十三條ノ規定ニ依リ戸主、父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出
人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ
署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第一百四條 婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻
及ヒ婿養子縁組ナルトキハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一百五條 婚姻カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消
ヲ申請スルコトヲ要ス

第一百六條 婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定
ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

檢事カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ從ヒ檢事ヨリ登記ノ取消ヲ請求スルコ
トヲ要ス

第一百七條 第一百二條及ヒ第一百三條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一百八條 第五十八條ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八節 離婚

第一百九條 離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

戶籍法 第四章 身分ニ關スル届出 第七節 婚姻 第九節 後見

- 一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 四 婚姻ノ年月日
 - 五 離婚カ協議又ハ裁判ニ因ルコト
 - 六 當事者カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 七 當事者カ復籍スヘキ家ナキトキハ其事由
- 第一百十條 民法第八百九條ノ規定ニ依リ父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ニ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
- 第一百一條 離婚ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス
- 第一百十二條 第九條及ヒ第十條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
- 第一百十三條 第五十八條ノ規定ハ離婚ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九節 後見

第一百四十四條 後見ノ開始アリタルトキハ後見人ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ住所
- 二 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 三 被見人カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 四 後見開始ノ原因及ヒ年月日
- 五 後見人就職ノ年月日

第一百五條 後見人ノ更迭アリタルトキハ後任ノ後見人ハ其就職ノ日ヨリ十日内ニ前條ニ掲シタル諸件及ヒ前任者ノ氏名ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

第一百十六條 後見人カ遺言ヲ以テ指定セラレタル者ナルトキハ届書ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

後見人カ親族會ニ於テ選任セラレタル者ナルトキハ届書ニ其選任ニ關スル證明書ヲ添フルコトヲ要ス

第一百十七條 後見人ノ任務カ終了シタルトキハ後見人ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 二 就職ノ年月日
 - 三 任務終了ノ原因及ヒ年月日
- 後見人ノ任務カ其死亡ニ因リテ終了シタルトキハ前項ノ届出ハ後見監督人ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十八條 後見ニ關スル届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十節 隠居

第百十九條 隠居ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 隠居者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 家督相續人ノ名、出生ノ年月日、職業及ヒ家督相續人ト隠居者トノ續柄
- 三 隠居ノ原因

第百三十條 裁判所ノ許可ヲ得テ隠居ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ裁判ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百二十一條 隠居ノ届出人ハ届書ニ家督相續人ノ承認ノ證書ヲ添ヘ又ハ承認ヲ爲シタ

ル者ヲシテ届書ニ其旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
前項ノ規定ハ民法第七百五十五條第二項ノ規定ニ依リ夫ノ同意ヲ要スル場合ノ届出ニ之ヲ準用ス

第百二十二條 隠居ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ハ申請スルコトヲ要ス

第百六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一節 失踪

第百二十三條 失踪ノ宣告アリタルトキハ其宣告ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 失踪者ノ氏名、住所出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 失踪ノ宣告アリタル年月日
- 三 失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及ヒ戸主ト失踪者トノ續柄

第百二十四條 失踪ノ宣告ノ取消アリタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二節 死亡

第二百二十五條 死亡者アリタルトキハ届出義務者カ其死亡ヲ知リタル日ヨリ五日內ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書若クハ檢案書又ハ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 死亡者ノ氏名、出生ノ年月日、男女ノ別及ヒ本籍地
- 二 死亡ノ年月日時及ヒ場所

三 死亡者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、族稱及ヒ戶主ト死亡者トノ續柄

前項ノ届出期間ハ衛生ノ爲メ特別ノ必要アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二百二十六條 左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

第一 戶主

第二 同居者

第三 家主、地主又ハ土地若クハ家屋ノ管理人

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

第二百二十七條 死亡ノ届出ハ死亡地又ハ死亡者ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十八條 第七十條及ヒ第七十四條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ之ヲ準用ス

第二百二十九條 死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遲滞ナク第二百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ監獄所在地ノ戶籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者アリテ死體ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ報告書ニ醫師ノ診斷書又ハ檢案書ヲ添フルコトヲ要ス

第二百三十條 航海中ニ死亡者アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時間內ニ乗船中ヨリ選ミタル證人ノ前ニ於テ第二百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證人ト共ニ署名捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時間內ニ死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三個月內ニ之ヲ外務大臣

ニ發送シ外務大臣ハ十日內ニ之ヲ死亡者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第三百一十一條 艦船ノ難破ニ因リテ乗組員及ヒ乗客ノ全部又ハ一部カ死亡シタルトキハ其難破ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第三百二十二條 死亡者ノ本籍分明ナラス且其何人タルコトヲ認識スルコト能ハサルトキハ警察官ハ檢視調書ヲ作り遲滞ナク之ヲ其地ノ戶籍吏ニ報告スルコトヲ要ス
 死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ其何人タルコトヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遲滞ナク前ニ報告ヲ受ケタル戶籍吏ニ之ヲ報告スルコトヲ要ス
 第三百二十六條第一項、第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル死亡届出義務者カ前項ノ事實ヲ知りタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ醫師ノ診斷書又ハ檢案書ニ代ヘ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添フルコトヲ得

第十三節 家督相續

第三百三十三條 家督相續ニ因リテ戶主ト爲リタル者ハ其事實ヲ知りタル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ之ヲ被相續人ノ本籍地ノ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

- 一 家督相續ノ原告及ヒ戶主ト爲リタル年月日
- 二 前戶主ノ名及ヒ前戶主ト家督相續人トノ續柄

家督相續人カ外國ニ在ル場合ニ於テハ前項ノ届出ハ三个月内ニ届書ヲ發送スルヲ以テ足ル

第三百三十四條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ相續權ヲ回復シタル者ハ裁判確定

ノ日ヨリ一个月内ニ前條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出テ且前ニ爲シタル家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第三百三十五條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ其母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知りタル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 相續開始ノ年月日
 - 二 家督相續人ノ胎兒ナルコト
 - 三 前戶主ノ名及ヒ前戶主ト家督相續人トノ續柄
- 第三百三十三條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第三百三十六條 胎兒ヲ家督相續人トシテ届出テタル場合ニ於テ其胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ母ハ出産ノ日ヨリ一个月内ニ醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産婆ノ檢案書ヲ提出シテ家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

母カ登記取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知りタル日ヨリ一个月内ニ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十四節 推定家督相續人ノ廢除

戶籍法 第四章 身分ニ關スル届出 第十三節 家督相續 第十四節 推定家督相續人ノ廢除

第三百三十七條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ被相續人ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 廢除セラレタル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 二 廢除ノ原因
- 三 廢除ノ裁判カ確定シタル年月日

第三百三十八條 被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スル意思ヲ表示シタル場合ニ於テ廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ前條ノ届出ハ遺言執行者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十九條 推定家督相續人廢除ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十五節 家督相續人ノ指定

第四百十條 家督相續人指定ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 指定家督相續人タルヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 法定ノ推定家督相續人ナキコト

第四百十一條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ家督相續人指定ノ届出ヲ爲ストキハ届書ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第四百十二條 家督相續人指定ノ取消ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 指定家督相續人ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 指定ノ年月日

第四百十三條 家督相續人指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス者ハ同時ニ家督相續人指定ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第四百十四條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ル外届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ指定ノ取消ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第四百十五條 家督相續人ノ指定カ其效力ヲ失ヒタルトキハ指定ヲ爲シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ其效力ヲ失ヒタル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十六節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絕

戶籍法

第四章 身分ニ關スル届出 第十五節 家督相續人ノ指定
第十六節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絕

第四百十六條 民法第七百三十五條第一項若シハ第七百三十七條ノ規定ニ依リ他家ノ家族ト爲ラント欲スル者又ハ民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ婚家、養家又ハ自家ノ家族ト爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ入籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 入籍スヘキ家ノ戸主又ハ家族ト入籍スヘキ者トノ親族關係
- 三 入籍スヘキ者カ廢家シテ他家ニ入ルトキハ其旨
- 四 入籍スヘキ者カ家族ナルトキハ其去ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ其戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

第四百十七條 民法第七百三十五條第一項、第七百三十七條及ヒ第七百三十八條ノ規定ニ依リ戸主、配偶者、養親、親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第四百十八條 戸主カ其家族ヲ離籍セント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 離籍セラルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業

- 二 離籍ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日
- 三 離籍セラルヘキ者ト共ニ家ヲ去ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト離籍セラルヘキ者トノ續柄

第四百十九條 離籍ニ因リテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 離籍ヲ爲シタル戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 離籍ヲ爲シタル戸主ト届出人トノ續柄
- 三 離籍ノ原因及ヒ年月日
- 四 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

第四百十條 戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

三 復籍拒絶ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日

第五百十一條 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ニ因リテ復籍ヲ爲スコト能ハサル者カ一家ヲ創立シタルトキハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 復籍ヲ拒ミタル戸主又ハ廢絶シタル家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ノ原因及ヒ年月日

三 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

第十七節 廢家及ヒ絶家

第五百十二條 廢家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シ家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ非サルコトノ證明書又ハ廢家ノ許可ニ關スル裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢家シタル者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 廢家シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第五百十三條 絶家ノ家族ニシテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ

左ノ諸件ヲ具シテ絶家及ヒ一家創立ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

一 絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 絶家ノ原因及ヒ年月日

三 一家ヲ創立シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第十八節 分家及ヒ廢家再興

第五百十四條 分家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 分家ノ戸主ト爲ルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 本家ノ戸主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ其戸主ト分家ノ戸主ト爲ルヘキ者トノ續柄

三 分家ノ家族ト爲ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日及ヒ職業

四 分家ノ戸主及ヒ家族ト爲ルヘキ者ノ父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

第五百十五條 廢絶家ヲ再興セント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

二 絶家ノ原因及ヒ年月日

三 廢絶シタル家ト再興ヲ爲ス者ノ家トノ續柄

戸籍法 第四章 身分ニ關スル届出 第十七節 廢家及ヒ絶家 第十八節 分家及ヒ廢家再興

- 四 再興ヲ爲ス者ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 五 再興ヲ爲ス者ニ隨ヒテ其家ニ入ルヘキ者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 第百五十六條 分家又ハ廢絶家再興ノ届出人ハ届書ニ戸主ノ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ戸主ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
- 前項ノ規定ハ民法第七百四十三條但書ノ規定ニ依リ親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十九節 國籍ノ得喪

第百五十七條 外國人カ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ婚姻又ハ縁組ノ届出人ハ届書ニ國籍取得者ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

入夫婚姻又ハ養子縁組ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外届書ニ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百五十八條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知者ハ認知ノ届書ニ子ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

子ノ母カ外國人ナルトキハ認知者ハ届書ニ母ノ國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第百五十九條 歸化ヲ爲シタル者ハ歸化ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ

内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 歸化人ノ氏名、出生ノ年月日、職業、住所及ヒ原國籍
- 二 父母ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ國籍
- 三 歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シタル者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト歸化人トノ續柄
- 四 許可ノ年月日

歸化人ノ妻又ハ子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セザルトキハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第百六十條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者ハ其國籍喪失前ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 國籍喪失ノ原因
- 二 國籍喪失ノ期日ヲ知り得ヘキトキハ其年月日
- 三 法定ノ推定家督相續人アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出入トノ續柄

四 新ニ取得スヘキ國籍

戶籍法 第四章 身分ニ關スル届出 第十九節 國籍ノ得喪

五 届出人ノ妻又ハ子カ共ニ國籍ヲ失フヘキトキハ其妻又ハ子ノ名、出生ノ年月日及
トキハ職業

第百六十一條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失前ニ前條ノ届出ヲ爲スコト能ハサリシ
トキハ國籍喪失後十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ國籍喪失者カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ之ヲ適用セス

第百六十二條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ國籍喪失ノ届出
人ハ届書ニ其者カ既ニ陸海軍ノ現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服スル義務ナキコトノ證明
書ヲ添フルコトヲ要ス

日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ官職ヲ帶フル者ナルトキハ國籍喪失ノ届出人ハ届書ニ所屬長
官ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百六十三條 日本ノ國籍ヲ回復シタル者ハ國籍回復ノ許可ヲ得タル日ヨリ十日内ニ左ノ
諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 日本ノ國籍ヲ失ヒタル原因及ヒ年月日
- 二 國籍回復前ニ有セシ國籍
- 三 國籍回復ノ許可ヲ得タル年月日

四 國籍回復者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ之ヲ回復シタル者アルトキハ其名、出
生ノ年月日、職業及ヒ其者ト國籍回復者トノ綴柄

第二十節 氏名及ヒ族稱ノ變更

第百六十四條 氏ヲ復舊シ又ハ名ヲ改稱シタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ管轄官廳ノ許
可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復舊又ハ改稱前ノ氏名
- 二 復舊シタル氏又ハ改稱シタル名
- 三 復舊又ハ改稱ノ原因及ヒ許可ノ年月日

第百六十五條 新ニ華族ニ列セラレ又ハ華士族ノ稱ヲ失ヒタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具
シ辭令書又ハ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 新舊族稱
- 二 族稱變更ノ原因
- 三 族稱變更ノ辭令又ハ許可アリタル年月日

前項ノ届出ハ其族稱ニ變更アリタル者カ家族ナルトキハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス
第百六十六條 前條ノ規定ハ分家、廢絶家再興又ハ處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル者ニハ之

ヲ適用セス但處刑ニ因リス族稱ヲ失ヒタル場合ニ於テハ裁判所ハ其者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第二十一節 身分登記ノ變更

第六十七條 身分登記ノ變更ヲ請求セント欲スル者ハ原登記ヲ爲シタル戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其申請ヲ爲スコトヲ要ス

第六十八條 身分登記變更ノ申請ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ一月内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ臆本ヲ添ヘテ原登記ヲ爲シタル戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 原登記ノ件名及ヒ年月日
- 二 變更スヘキ事項

第六十九條 前條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ身分登記ノ變更ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第五章 戸籍簿

第七十條 戸籍ハ戸籍吏ノ管轄地内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ之ヲ編製ス

日本ノ國籍ヲ有セサル者ハ本籍ヲ定ムルコトヲ得ス

第七十一條 戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト爲ス

戸籍吏ノ管轄地内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區畫アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ戸籍吏之ヲ定ム

第七十二條 戸籍簿ハ正副二本ヲ設ク

戸籍簿ノ正本ハ之ヲ戸籍役場ニ備ヘ其副本ハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所之ヲ保存ス

第七十三條 家督相續、廢絶家其他ノ事由ニ因リ戸籍ノ全部ヲ抹消シタルモノハ之ヲ戸籍簿ヨリ除キ別ニ編綴シテ帳簿ト爲シ之ヲ戸籍役場ニ保存ス

前項ノ帳簿ヲ保存スヘキ期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第七十四條 第十二條乃至第十四條ノ規定ハ戸籍簿並ニ戸籍ノ謄本及ヒ抄本ニ之ヲ準用ス

第六章 戸籍ノ記載手續

第七十五條 戸籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル

第七十六條 戸籍ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 戸主、前戸主、及ヒ家族ノ氏名
- 二 戸主ノ族稱及ヒ本籍地但家族ト主戸ト族稱ヲ異ニスル場合ニ於テハ家族ニ付テモ

戸籍法 第五章 戸籍簿 第六章 戸籍ノ記載手續

其族稱ヲ記載スルコトヲ要ス

- 三 戸主及ヒ家族ノ出生ノ年月日、
- 四 戸主又ハ家族ト爲リタル原因及ヒ年月日但出生ニ因リテ家族ト爲リタル者ニ付テハ此記載ヲ要セス
- 五 戸主並ニ家族ノ父母ノ氏名及ヒ其父母ト戸主又ハ家族トノ續柄
- 六 戸主ト前戸主トノ續柄及ヒ家族ト戸主トノ續柄但家族ノ中他家ヨリ入リテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス
- 七 他家ヨリ入リテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ニ付テハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト戸主又ハ家族ト爲リタル者トノ續柄
- 八 他家ヨリ入リテ家族ト爲リタル者ニシテ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト他ノ家族トノ續柄
- 九 戸主又ハ家族ノ身分ノ變更及ヒ其原因並ニ年月日
- 十 後見人アル者ニ付テハ後見人ノ氏名、住所及ヒ後見人ノ就職並ニ任務終了ノ年月日

第一百七十七條 戸主及ヒ家族ノ氏名ヲ戸籍ニ記載スルニハ左ノ順序ニ依ル

- 第一 戸主
- 第二 戸主ノ直系尊屬
- 第三 戸主ノ配偶者
- 第四 戸主ノ直系卑屬及ヒ其配偶者
- 第五 戸主ノ傍系親及ヒ其配偶者
- 第六 戸主ノ親族ニ非サル者

直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

直系尊屬、直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位ニ依リ親族間ノ順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ其順序ヲ定ム

前二項ノ規定ハ戸主ノ親族ニ非サル者ノ記載ニ之ヲ準用ス

第一百七十八條 戸籍吏カ身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受理シタルトキハ次條以下ノ規定ニ從ヒテ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第一百七十九條 家督相續又ハ家督相續回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記及ヒ前戸主又ハ

戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ基キテ新戸主ノ戸籍ヲ編製スルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其戸籍ヲ
抹消シ且其戸籍ト新戸主ノ戸籍トニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス
胎兒カ家督相續人ナル場合ニ於テハ其出生ニ至ルマテ前二項ノ手續ヲ爲スコトヲ要セス
此場合ニ於テハ前戸主ノ戸籍中戸主ニ關スル部分ノミヲ抹消シ家督相續人ノ胎兒ナル旨
ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十條 分家、廢絶家再興其他新家ヲ立ツヘキ事件ノ登記ヲ爲シ又ハ轉籍若クハ無
籍戸主ノ就籍ノ届出ヲ受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キテ戸籍ヲ編製シ轉籍届書
ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製スルニハ第百七十六條ニ掲ケタル事項ノ外各場合ニ付キ
特殊ナル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十一條 復籍拒絕ノ登記ヲ爲シタルトキハ復籍ヲ拒絕シタル者ノ戸籍ニ登記ノ要旨
ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十二條 廢絶家ノ登記ヲ爲シタルトキハ最終戸主ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其戸籍ヲ
抹消スルコトヲ要ス

第百八十三條 單身戸主ノ死亡又ハ失踪ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其家ニ家督相續人ナ
キコト分明ナルトキハ戸籍吏ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ死
亡者又ハ失踪者ノ戸籍ニ絶家ノ原因及ヒ年月日ヲ記載シテ其戸籍ヲ扶消スルコトヲ要
ス

第百八十四條 戸籍吏ノ管轄地内ニ於クル本籍地變更ノ届出ヲ受理シタルトキハ事由ヲ戸
籍ニ記載シ舊本籍地ニ關スル記載ヲ抹消シ新本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十五條 前六條ノ場合ヲ除ク外身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受理シタル
トキハ其登記又ハ届出ニ基キ第百七十六條ニ掲ケタル事項ヲ戸籍ニ記載スルコトヲ要
ス

前項ノ場合ニ於テ第百八十條第二項ノ規定ニ依リテ戸籍ニ記載シタル事項ノ變更アルト
キハ其變更ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十六條 戸籍ヲ編製シタル後一人又ハ數人ヲ戸籍ニ入ルヘキトキハ第百七十七條ノ
順序ニ拘ハラヌ戸籍ノ末尾ニ之ヲ記載スルコトヲ得

第百八十七條 一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若クハ數人ヲ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ
戸籍ニ記載シテ戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スルコトヲ要ス

第百八十八條

五十

入籍ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ入籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ他ノ戸籍吏ノ管轄ヨリ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ヲ送付スルト同時ニ入籍ヲ爲シタル旨ヲ管轄ノ戸籍吏ニ通知スルコトヲ要ス

第百八十九條

除籍ノ手續ヲ爲スヘキ場合ニ於テ除籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ新管轄ノ戸籍吏ヨリ入籍ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル後其通知ノ發送及ヒ受附ノ年月日ヲ戸籍ニ記載シテ除籍ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

轉籍ニ因リテ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外轉籍地及ヒ轉籍ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十條

身分登記又ハ戸籍ニ關スル届出ニ基キテ戸籍ノ記載ヲ爲ス場合ニ於テハ前項一條ニ規定シタル事項ノ外身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ノ受附年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十一條

第十八條第二十九條及ヒ第三十一條ノ規定ハ戸籍ノ記載ニ之ヲ準用ス

第百九十二條

戸籍用紙中ノ一部分ヲ用非盡シタルトキハ掛紙ヲ以テ用紙ニ充ツルコトヲ

得

掛紙ヲ爲シタルトキハ戸籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第百九十三條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ戸籍ニ記載シタル區畫、名稱又ハ番號ハ當然之ヲ改正シタルモノト看做ス

第百九十四條 第百七十九條及ヒ第百八十條ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製シタルトキハ戸籍吏ハ遲滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第七章 戸籍ニ關スル届出

第百九十五條 戸籍吏ノ管轄地外ニ本籍ヲ轉セント欲スルトキハ戸主ヨリ左ノ諸件ヲ具シ

戸籍ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ轉籍地ノ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

一 轉籍者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業

二 原籍地及ヒ轉籍地

前項ノ届書ハ正副二本ヲ作ルコトヲ要ス

第百九十六條 戸籍吏ノ管轄地内ニ於テ本籍地ヲ變更セント欲スルトキハ戸主ヨリ原籍地

及ヒ新本籍地ヲ具シテ其旨ヲ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

第百九十七條 届出ノ闕漏其他ノ事由ニ因リ本籍ヲ有セス又ハ複本籍ヲ有スル者ハ就籍又

ハ除籍ノ届出ヲ爲サントスル戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其届出
ヲ爲スコトヲ要ス

第百九十八條 就籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判
ノ騰本ヲ添ヘテ就籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 就籍スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日時、職業及ヒ就籍スヘキ地
- 二 就籍スヘキ者ノ父母ノ氏名及ヒ其者ト父母トノ續柄
- 三 本籍ヲ有セザリシ原因

四 就籍スヘキ者カ前ニ本籍ヲ有セシトキハ其舊本籍地

五 就籍スヘキ者カ戸主ナルトキハ其旨

六 就籍スヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱、職業及ヒ其者ト戸主トノ續柄

七 就籍スヘキ者カ戸主及ヒ家族ナルトキハ戸主、家族ノ別及ヒ家族ト戸主トノ續柄

八 就籍スヘキ者カ他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ナルトキハ其原籍地、
原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト就籍スヘキ者トノ續柄

前項第六號及ヒ第七號ノ場合ニ於テ就籍スヘキ家族カ他家ヨリ入りテ他ノ家族ノ配偶者
ト爲リタル者ナルトキ又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ届書

ニ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載シ若シ他ノ家族トノ親族關係ヲ有
スル者ナルトキハ其者ト他ノ家族トノ續柄ノミヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十九條 除籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判
ノ騰本ヲ添ヘテ除籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 除籍スヘキ者ノ氏名、族稱、職業、本籍地及ヒ複本籍地
- 二 複本籍ヲ有セル原因
- 三 除籍スヘキ者カ本籍ト複本籍トニ於テ身分ヲ異ニスルトキハ本籍並ニ複本籍ニ於
ケル身分及ヒ其身分ノ異ナル原因

第百一十條 就籍又ハ除籍スヘキ者カ家族ナルトキ又ハ戸主及ヒ家族ナルトキハ前二條ノ
届出ハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百一十一條 第百九十八條及ヒ第百九十九條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ就籍又ハ除籍ノ届
出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百二條 第四十三條、第四十四條、第四十六條、第四十九條乃至第五十二條、第五十
四條、第五十五條、第五十八條及ヒ第六十三條乃至第六十六條ノ規定ハ本章ノ届出ニ之
ヲ準用ス

第八章 抗告

五十四

第二百三條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル事件ニ付キ、戸籍吏ノ處分ヲ不當トスル者ハ、戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百四條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

抗告狀ニハ届書又ハ申請書及ヒ其他ノ關係書類ヲ添フルコトヲ要ス

第二百五條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ戸籍吏ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百六條 戸籍吏ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ其意見ヲ附シ送付ヲ受ケタル書類ヲ五日內ニ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

第二百七條 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ其理由アリトスルトキハ戸籍吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ之ヲ戸籍吏及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

第二百八條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百九條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第九章 罰則

第二百十條 本法ノ規定ニ依リ期間內ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二百十一條 期間內ニ届出又ハ申請ヲ爲ササルニ因リ戸籍吏カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ尙ホ其届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二百十二條 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處セラル

- 一 正當ノ理由ナクシテ身分又ハ戸籍ニ關スル届出若クハ申請ヲ受理セサルトキ
- 二 身分登記又ハ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

第二百十三條 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

- 一 正當ノ理由ナクシテ身分登記簿又ハ戸籍簿ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ
- 二 正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ヲ交付セス又ハ身分若ク

ハ戸籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理證明書ヲ交付セサルトキ

第二百十四條 本章ニ定メタル過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ居所ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第二百十五條 自己又ハ他人ノ利ヲ圖リ若クハ他人ヲ害スル目的ヲ以テ身分又ハ戸籍ニ關シ詐偽ノ届出若クハ申請ヲ爲シタル者ハ十一日以上四年以下ノ重禁錮又ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル

附則

第二百十六條 市町村長ヲ置カサル地ニ於テハ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ヲ以テ戸籍吏トシ其吏員ノ職務ヲ行フ役場ヲ以テ戸籍場トス

市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スヘキ者ナキ地ニ在リテハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其事務ヲ代理スヘキ者ヲ定ム

市參事會員其他戸籍吏ノ職務ヲ行フヘキ吏員ナキ地ニ於テ此等ノ者ニ代ハリテ戸籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者モ亦前項ノ手續ニ依リテ之ヲ定ム

第二百十七條 本法ノ規定ニ依リテ納付スル手数料ハ之ヲ市町村ノ收入トス但國庫ヨリ戸

籍役場ノ經費ヲ支辨スル地ニ在リテハ之ヲ國庫ノ收入トス

手数料ノ金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二百十八條 本法ノ規定ニ依リ届出人其他ノ者ノ署名、捺印ヲ要スル場合ニ於テ其者カ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル若シ署名スルコトヲ能ハス且印ヲ有セサルトハ名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル

前項ノ規定ニ依リ捺印セス又ハ名ヲ代署セシメ若クハ捺印シタル場合ニ於テハ書面ニ其事由ヲ附記スルコトヲ要ス

第二百十九條 明治三十一年十二月三十一日マデハ從前登記目錄トシテ備ヘタル帳簿ヲ以テ身分登記簿ニ代用スルコトヲ得

第二百二十條 登記目錄ノ冊數又ハ紙數カ身分登記簿ニ代用スルニ足ラサル場合ニ於テハ明治三十一年十二月三十一日マデノ身分登記簿ニ限り戸籍吏ハ第九條ノ規定ニ拘ハラズ登記目錄ヲ作製スルト同一ノ手續ニ依リテ之ヲ作製スルコトヲ得

前項ノ規定ハ登記目錄ノ設ナカリシ地ノ身分登記簿ニ之ヲ準用ス

之ヲ定ム

五十八

本法施行後戸籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニ於テハ其記載又ハ編製ニ付テハ本法ノ規定ニ從フコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ其事實ヲ知ルコト能ハサルモノ又ハ従前ノ戸籍用紙中其事項ヲ記載スヘキ區畫ノ設ナキモノハ其記載ヲ省クコトヲ得

第二百二十二條 明治四年四月四日布告戸籍法、明治十九年内務省令第十九號及ヒ同年内務省令第二十二號ハ寄留ニ關スル規定ヲ除ク外本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止シ其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ牴觸シ又ハ重複スルモノハ同日ヨリ之ヲ廢止ス
寄留ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ第五條ノ規定ヲ準用ス
第二百二十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

戸籍法終

明治三十一年六月廿三日印刷
明治三十一年六月廿六日發行

定價金四拾五錢

編輯者兼
發行

東京市牛込區矢來町四番地
小久江成一

印刷者

東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目十二番地
佐久間 衡 治

印刷所

東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目十二番地
秀英舎第一工場

發行所

東京府豊多摩郡戸塚村大字下戸塚六百四十七番地
東京專門學校出版部

賣捌所

東京市神田區一ツ橋通町七番地
有斐閣

同

東京市神田區表神保町三番地
東京堂

同

東京市芝區露川町十四番地
丁酉社

東京專門學校校外生募集

政治經濟科

立憲國民の本分ヲ盡シ一身一家ノ經營ニ必要ナル學問ヲ爲シ政治經濟史學公法私法等ニ關スル學理ヲ解説シ一般人民ニ養フ與フルヲ以テ其目的トス殊ニ本學年ハ各種ノ新設備ヲ爲シ要論金融論最近時外交史國際私法等課程目新設爲シ比較憲法論等參考科目ニハ治水制度山林制度工業制度等ノ平易ニ説明スルハ本講義ノ特色ナリ

シ正課目中心ニ史學研究法英國憲法史氏ノ比較憲法論等參考科目ニハ治水制度山林制度工業制度等ノ平易ニ説明スルハ本講義ノ特色ナリ

シ正課目中心ニ史學研究法英國憲法史氏ノ比較憲法論等參考科目ニハ治水制度山林制度工業制度等ノ平易ニ説明スルハ本講義ノ特色ナリ

法律科

新法典調査ノ功ハ漸ク完成ノ域ニ達セントス本講義條ハ此機ニ乘リ大改訂ヲ施シ刑法典調查ノ功ハ漸ク完成ノ域ニ達セントス本講義條ハ此機ニ乘リ大改訂ヲ施シ刑法典調查ノ功ハ漸ク完成ノ域ニ達セントス本講義條ハ此機ニ乘リ大改訂ヲ施シ

新法典調査ノ功ハ漸ク完成ノ域ニ達セントス本講義條ハ此機ニ乘リ大改訂ヲ施シ刑法典調查ノ功ハ漸ク完成ノ域ニ達セントス本講義條ハ此機ニ乘リ大改訂ヲ施シ

行政科

ハ法律科ニ掲載スル諸課目ノ外特ニ行政學經濟學等ノ講義ヲモ掲載スル者又ハ高等文官試驗及普通文官試驗ニ應ゼントスル者ノ好材料タルハ勿論

ハ法律科ニ掲載スル諸課目ノ外特ニ行政學經濟學等ノ講義ヲモ掲載スル者又ハ高等文官試驗及普通文官試驗ニ應ゼントスル者ノ好材料タルハ勿論

文學科

ハ哲學心理倫理審美教育宗教史學美辭學國文學漢文學英文學等ノ諸講義ヲ掲載シ其目的和洋三文學ノ比較宗敎學歴史考法最近心理學思想ノ普及ヲ計ルニアリ本學期ヨリ新ニ比較宗敎學歴史考法最近心理學思想ノ普及ヲ計ルニアリ本學期ヨリ新ニ比較宗敎學歴史考法最近心理學思想ノ普及ヲ計ルニアリ

ハ哲學心理倫理審美教育宗教史學美辭學國文學漢文學英文學等ノ諸講義ヲ掲載シ其目的和洋三文學ノ比較宗敎學歴史考法最近心理學思想ノ普及ヲ計ルニアリ本學期ヨリ新ニ比較宗敎學歴史考法最近心理學思想ノ普及ヲ計ルニアリ

英語通信教授録

今外人雜居近キニ在ル英語通信教授録ヲ附シ讀者ヲ知得スルノ便ヲ得セシムル外野名家ノ科外講義ハ漏ナク筆記シテ之ヲ掲載シ紙數増加頁以上トス

今外人雜居近キニ在ル英語通信教授録ヲ附シ讀者ヲ知得スルノ便ヲ得セシムル外野名家ノ科外講義ハ漏ナク筆記シテ之ヲ掲載シ紙數増加頁以上トス

懸賞文

去十月各級(一年二年三年二分)第壹號有志者ハ此際至急申込ベシ詳細ハ改

去十月各級(一年二年三年二分)第壹號有志者ハ此際至急申込ベシ詳細ハ改

正規則書

明治三十一年六月 東京專門學校

明治三十一年六月 東京專門學校

外交時報

既刊自第一
號至第四號
悉皆取捕
每月十日發行
代價郵稅共十一錢
六部前金六十三錢
十二部前金一圓廿錢

今や米西戦争極東問題等外交多難の時際す、殊に列國の視線、大日本帝國永遠の運命は此の形勢に於て定まらんことを、願ひて我實況を察するに、國人の列有賀長雄氏身を外交の者此危機を視て歎する久し幸にして同氏は英佛獨露米其他各國外交上貴重の文筆と時々の刊行物を及、海外交の便道を得るに於て最編纂の主宰に任本年一月、真相を傳へ其由來消長を辨じ、以て外交の今後の態度を定むるの資に供し、今や第四號に達す元之れ收利の爲に、非ず政黨に費給あるに非ず、唯平生講學の責務を盡さんとすのみ、其掲載事項の一號より四號に至る重要なものを掲載すれば左の如し

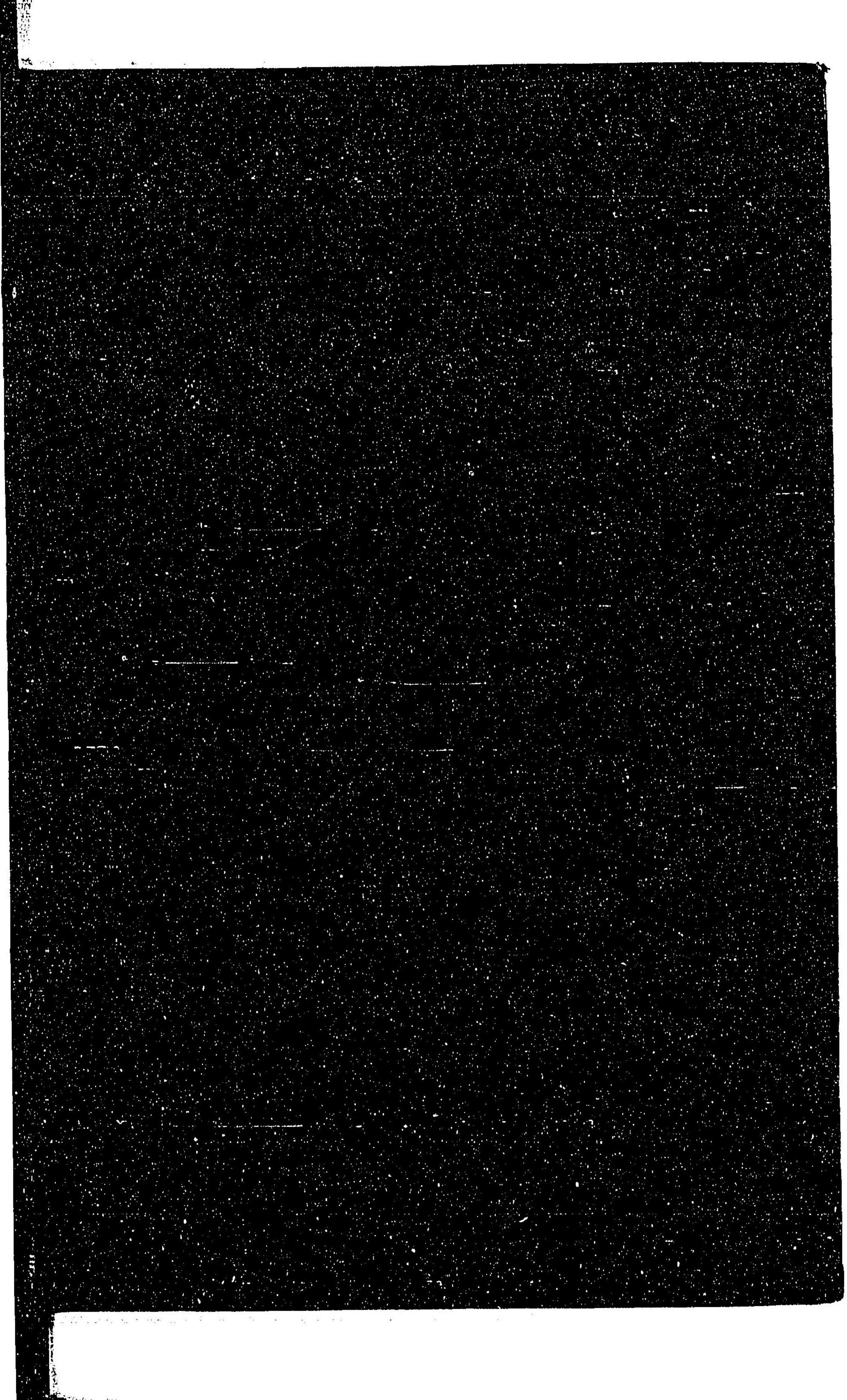
●肖像畧傳 英國總理大臣ソールズベリー、白露大統領ド、ピエロレ、
●記事 には露佛同盟、中央亞細亞に於ける英露對立の近情、歐
國の海軍的大計(首相領事大尉)中央亞細亞に於ける英露衝突、
●論說 種東事件に於ける日本の態度、極東事件に於ける英國の態度、清露協
約改正に於ける日露聯合保衛(全權公使エンゲラト)●國際法 には條約の形式(法學士立本)居留外國人權利義務論(小島源三)條
約改正に於ける日露聯合保衛(全權公使エンゲラト)●萬國赤十字記事 には、赤十字社創業者ヘンリー、ゲン、總會理事
●公文 には萬國版條約研究會、膠州、伊國赤十字社戰後情況、奧國赤十字社の美譽、日本戰時衛生勤務の
●雜報 には他の新聞雜誌に見えざる重要外報頗る多し

發行所
發賣所

東京牛込早稲田
東京專門學校内
神田區一橋通
神田區神保町
外交時報社
有斐堂
東京堂

右は世の歡迎を博し、第一號第二號は第三版、第三號は第二版を増刊するに至る

79
130



031017-000-6

CZ-5-036

新法典 (龜頭对照)

小久江 成一 / 編

M31

BBC-0489



